

2020年3月27日付 韓国環境部プレスリリース

京畿道、江原道の野生イノシシから ASF ウイルス検出
(野生イノシシ 449-459 例目)

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do?pagerOffset=0&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=&searchValue=&menuId=286&orgCd=&boardId=1360535&boardMasterId=1&boardCategoryId=&decorator=>

□環境部所属国立環境科学院(院長チャン・ユンソク)は3月26日京畿道(キョンギド)漣川郡(ヨンチョンゴン)旺澄面(ワンジンミョン)および漣川邑(ヨンチョンウプ)、江原道(カンウォンド)華川郡(ファチョンゴン)華川邑(ファチョンウプ)および看東面(カンドンミョン)広域フェンス内で発見された死体11個体からASFウイルスが検出されたと3月27日明らかにした。

□国立環境科学院は3月27日死体11個体からASFウイルスを検出したことを関係機関に通知した。これで漣川郡(ヨンチョンゴン)177件、華川郡(ファチョンゴン)177件、坡州市(パジュシ)82件、鉄原郡(チョルウォンゴン)23件、合計459件のイノシシASF陽性事例となった。

○野生イノシシASF標準行動指針により試料採取後現場消毒と共に死体を処理した。

□国立環境科学院は「今回陽性になった死体は全て環境部捜索チームが山を捜索中に発見されたもので、他にも感染個体が存在するか捜索を通じて持続的に確認し、死体を迅速に除去して疾病の拡散を遮断する計画である」と明らかにした。

以上